

令和4年度事後評価 対象課題一覧

No	研究領域	タイプ	体制	採択年度	研究開発担当者氏名	委託先機関名	役職	研究開発課題名
1	A	応用	ユニット型	令和2年度	藤村 篤史	岡山大学	助教	次世代抗がん剤の創成を目指したtRNAエピトランスクリプトーム阻害剤の開発
2	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	山中 聡士	愛媛大学	特定助教	催奇性を回避した血液がん治療に有効な新規サリドマイド誘導体の開発
3	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	高橋 智聡	金沢大学	教授	SUCLA2遺伝子欠失を標的とする進行前立腺がんの新規治療法開発
4	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	後藤 典子	金沢大学	教授	1炭素代謝酵素とミトコンドリア機能の包括的理解による乳がんの革新的治療法の確立
5	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	清宮 啓之	がん研究会	部長	グアニン四重鎖によるゲノム機能制御機構を標的としたがん治療薬の開発
6	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	荻原 秀明	国立がん研究センター	分野長	クロマチンリモデリング複合体同士の依存性を標的としたがん治療法の開発
7	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	日野原 邦彦	名古屋大学	特定准教授	BRCAnessの薬理学的誘導によるPARP阻害剤臨床用途の新たな開拓
8	A	標的探索	ユニット型	令和3年度	田中 一大	名古屋大学	病院助教	分泌タンパク質SMOC1を標的としたLKB1不活化肺癌における新規治療戦略の構築
9	B	応用	ユニット型	令和2年度	安永 正浩	国立がん研究センター	ユニット長	光遺伝子/タンパク質工学・DDS・分子イメージングを駆使した次世代抗体療法開発
10	B	応用	ユニット型	令和2年度	藤井 博史	国立がん研究センター	分野長	膵臓がんに対する高LETアルファ線核医学治療の最適化に資する研究
11	B	標的探索	ユニット型	令和3年度	丸 義朗	東京女子医科大学	教授	転移前微小環境形成を標的とした新規多価型ペプチドがん治療薬の開発
12	B	標的探索	ユニット型	令和3年度	青木 正博	愛知県がんセンター	分野長	大腸がん幹細胞の可塑性・転移形成能に關与するシグナル経路を標的とした再発・転移・治療抵抗性克服戦略の開発
13	B	標的探索	ユニット型	令和3年度	中西 祐貴	京都大学	特定助教	がんの幹細胞性と線維化機構の制御による多因子標的がん治療法の開発
14	B	標的探索	ユニット型	令和3年度	高橋 良太	東京大学	助教	VCAM-1による膵臓癌進展機序の解明と治療応用
15	B	標的探索	ユニット型	令和3年度	畑 昌宏	東京大学	特任臨床医	胃癌のサブタイプ・遺伝子変異別薬剤治療創出を志向する腫瘍周囲微小環境解析
16	B	標的探索	ユニット型	令和3年度	高木 聡	がん研究会	研究員	脂質メディエータ受容体を標的とした骨肉腫の増殖・転移を阻害する新治療法の開発
17	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	保仙 直毅	大阪大学	教授	急性骨髄性白血病に対する新規CAR-T細胞療法開発
18	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	諸石 寿朗	熊本大学	教授	がん細胞の免疫原性を標的とした微粒子免疫療法の研究開発
19	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	富樫 庸介	岡山大学	教授	ゲノム異常を有する腫瘍浸潤リンパ球の1細胞解析方法の開発とその臨床的意義の解明
20	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	渋谷 和子	筑波大学	教授	可溶性DNAM-1リガンドを標的としたがんの新規治療法の開発
21	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	伊藤 博崇	東京大学	助教	腫瘍微小環境解析に基づくがん治療用ウイルスを用いた次世代脳腫瘍治療戦略の探索
22	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	神奈木 真理	関西医科大学	客員教授	成人T細胞白血病細胞の抗原性増大による新規免疫療法の開発
23	C	標的探索	ユニット型	令和3年度	田中 伸幸	宮城県がんセンター（研究所）	部長	改変型サイトカイン分子設計による抗腫瘍免疫療法の開発
24	D	応用	ユニット型	令和2年度	武藤 学	京都大学	教授	難治性食道癌におけるPrecision Medicineに資する診断技術開発に関する研究
25	D	応用	ユニット型	令和2年度	吉井 幸恵	量子科学技術研究開発機構	上席研究員	放射性抗体医薬による革新的早期癌がん診断法の開発：製剤化・マウス毒性試験
26	D	標的探索	ユニット型	令和3年度	内田 広夫	名古屋大学	教授	進行リスクを判別する神経芽腫腫瘍マーカーの開発
27	D	標的探索	ユニット型	令和3年度	山崎 香奈	量子科学技術研究開発機構	研究員	新規膵癌PETプローブ ^{[11C]MeLeu} と画像解析技術を基盤とした膵癌高感度画像診断法の創出
28	D	標的探索	ユニット型	令和3年度	田口 歩	愛知県がんセンター	分野長	高深度血漿プロテオーム解析に基づく新規大腸癌早期診断法の開発
29	D	標的探索	ユニット型	令和3年度	北爪 しのぶ	福島県立医科大学	教授	グリオーマの診断マーカーの開発
30	D	標的探索	ユニット型	令和3年度	新倉 量太	東京医科大学	講師	胃内細菌をバイオマーカーとした胃癌リスク層別化と化学療法反応性予測に関する研究開発
31	D	標的探索	ユニット型	令和3年度	衣斐 寛倫	愛知県がんセンター	分野長	ctDNAに基づく大腸がん術後再発高リスク群予測・同モデルの開発と術後化学療法抵抗性の解明
32	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	清井 仁	名古屋大学	教授	シングルセルバーコードラベル化PDXモデルによる難治性造血器腫瘍クローンの選択・進展過程に關与する分子病態の解明に関する研究
33	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	鈴木 絢子	東京大学	特任准教授	ロングリード技術を駆使した非小細胞肺癌におけるがんゲノム多様性・進化に関する研究
34	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	岡本 康司	帝京大学	教授	空間的トランスクリプトーム解析による臓器特異的ながん転移土壌形成の解明
35	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	町谷 充洋	国立がん研究センター	研究員	「相分離」制御による、希少がんやAYA世代がんに対するTERT標的戦略の概念の確立を目指した研究
36	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	藤澤 学	筑波大学	日本学術振興会特別研究員	微小環境細胞のヒストン修飾異常を作用点とする新規創薬エビデンスの創出
37	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	牧島 秀樹	京都大学	准教授	先天性急性骨髄性白血病における網羅的ゲノム解析による予後予測モデルと新規治療法の開発
38	E	標的探索	ユニット型	令和3年度	辻 貴宏	名古屋大学	研究員	脳内微小環境と癌細胞の相互作用を解明する異分野融合的解析法